

千秀小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

本校に学ぶ全ての子が、多様な触れ合いの中、心と心を通い合わせ、個性あふれる人間性と豊かな社会性をもった姿が具現化されています。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

明るく、元気にのびのびと生活をしている。しかし、学年が高まり友人関係が深まるにつれ、自己判断することを避け、友達の判断に付随するなど、集団の中で自立した個としては課題を感じることもある。また、多くは学校生活を楽しく過ごす姿を見せてはいるが、自己表現が苦手であり、自分の思いを十分に表に出せないことから来る不安をもつなどの課題もある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・集団の一員として、よりよい生活や人間関係を築いていこうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- ・スマイル活動（異学年交流）など多様なふれあいの場を通して、協力してよりよい集団を形成する心や、思いやりの心を育てる。
- ・教科領域の授業全体を通して「伝える力」・「受け取る力」・「社会的スキル」の育成を図ることで、コミュニケーション力を高める。

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・昨年度に引き続き全校で道徳授業の在り方を研究推進し、児童がより深い道徳的価値の把握をし、時小野生活と結びつけ、生活の中で実践して行かれるようにつとめます。
- ☆市道徳授業力向上推進校の経験をもとに、すべての教師が意図的・計画的に授業に取り組み、全人的な道徳性の育成につとめます。

指針2 確かな児童理解にもとづく集団の育成・他者意識の育成

- ・日常的な児童との交流、Y-P アセスメントやその他の調査、家庭訪問・懇談会等から得る、子どもへの確かな理解をもとに、児童の豊かな学校生活の実現に向け、全職員が積極的に働きかけます。
 - ・学校生活全体において「あいさつ運動」をはじめとした、児童が積極的に他者と関わる活動を進め、「望ましい集団の育成」「人間関係づくり」「環境づくり」を推進します。
- ☆子ども一人ひとりの能力に応じた適切な指導や必要な支援が行われ、豊かな心が育ち充実した生活が送れるように、特別支援教育の充実や多様な交流及び共同学習の推進を図ります。

指針3 体験活動の充実

- ・「スマイル活動」を中心に、「クラブ活動」「児童会活動」「運動会プロジェクト」などの異年齢集団活動の展開や、地域・家庭教育力の積極的導入を図り、交友関係を広げるとともに、自主的、意欲的な姿勢を育成します。
- ☆地域に対し、人材確保、活動への呼びかけなどを積極的におこない、豊かな体験活動が可能となるような協力体制の構築をはかります。

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・横浜市芸術文化教育プラットフォームと連携をし、芸術鑑賞会を企画・開催します。
- ・「チーム千秀・本の木」による読書活動や「はまっ子読書ノート」の活用、ブックトークなど、読書の世界にふれ、本に親しむ機会の充実をすすめ、子どもたちの表現力や想像力を高め、豊かな感性を育みます。